

## 製作のねらい

信州はカラマツの故郷である。各地に天然のカラマツが残り、この人工植栽もその発祥の地となっている。県下人工林の約六割がカラマツ、この約二三十万坪の大半が間伐期を迎えている。だが、若いカラマツ材はそのままでは建築には向かない。ここにカラマツ林業の悩みがある。

この対策としては、山づくりは建築材向きの大径材生産を目指し原木流通は協業活動を進め、加工は脱脂、乾燥などで材質を向上させて利用分野を拡げるといふ、三者一体の努力が必要であろう。

このため、信州の自然と歴史と暮らしの中にカラマツの姿と往時の大径材使用の知恵をさぐり、これらを新しく生かしている最近の加工技術、あるいは新しい間伐法などと対照させつつ紹介し、カラマツ材とその林業の用途に理解を深めるといふ意図で自主製作したものである。

## あらすじ

### 信州を彩るカラマツ

北原白秋の詩で名高い軽井沢のカラマツ林。ここ佐久地方を中心に、上高地、八ヶ岳、木曾御岳、南アルプスへと天然のカラマツが広がっている。人工林も全国第二位。こうしてカラマツは、信州の山や高原を果てしなく覆い、春の芽吹き、初夏の若葉、秋の黄葉と、それぞれの季節を彩っている。

### 意外な性格

カラマツは、落葉性の柔かい葉ざわり、白秋の詩のイメージから、穏やかな木だという印象が漂うが、実は針葉樹の中で一番激しい木。日向を好み、枝や根を遠慮なく張り出しお互いに鎗を削る。こんな性格を縫うように、自然界では、忍耐の木モミ属がカラマツの下に共存し、やがて上を征圧する。天然カラマツの分布が点在しているのは、これが一因。そのため、使う木としての馴みも薄い。

### カラマツの里

佐久地方はカラマツの里、自然も暮らしもこの中にある。人々はこの木の良さを知っていた。昔から柱に屋根に板壁に。そして古くから懸命に植えてきた。このためか、ここに源流を持つ千曲川も今や洪水を知らない。千曲の上流には原始の姿を伝えるカラマツ天然

林がある。だがそこにもモミ属が。人々は、こういうカラマツの自然に寄り添い、それを暮らしに役立てては植えてきた。カラマツを生かす知恵の歴史がそこにあった。

### 古きをたずねる

南佐久に残る井籠倉。大陸北方文化の流れを汲むといわれる厚板の校組みと石置き板葺き屋根とが特徴である。すべてカラマツ、徳川期のものがまだ使用に耐える。この土地では天然カラマツが建築材の最高。幕末の洋式城郭として名高い龍岡城五稜郭もカラマツ材が主体。小諸藩士の住まいもそうだったという。唐松のつく地名も多いが、これもこの木への憧れを示すものか。広重の版画の軽井沢にもカラマツらしきものが背影に見える。

### 良い林をつくる

カラマツの里では、天然カラマツ再生を夢みて早くから植林が始まった。今では広く県下に広がる。戦時濫伐あとの復旧造林期にはカラマツが寵児だった。そのカラマツ人工林も今一斉に間伐期を迎えている。森林組合労働班がむづかしい条件の中で活躍している。もう本格的伐採に入っている山も多い。営林署は新しい伐採方式の開発に忙しい。

### これからの間伐法

林には、その樹高に比例した透き間が要る。土の肥えた処は生長が早いから、混み方も早い。痩せ地はその反対。だから間伐は、土と

林に合わせてやるべきもの。またカラマツは最初の一五年間位の生育部分が狂い易い。だからこの間は混ませて横の生長を抑えるのが良い。これが最近の間伐法。

### 加工で銘木に

人工林カラマツも五、六〇年育てた太いものはそのまま製材に向く。細い間伐木はそうはいかない。だがこれらを全部役立てねば。防腐した間伐木が信州リンゴの支柱に。ヤニを除いて乾燥した小径材が家具材や内装材に新しい加工技術が動きはじめている。人工林カラマツ材も加工すれば良い木になる。

### 大径材生産を軸に

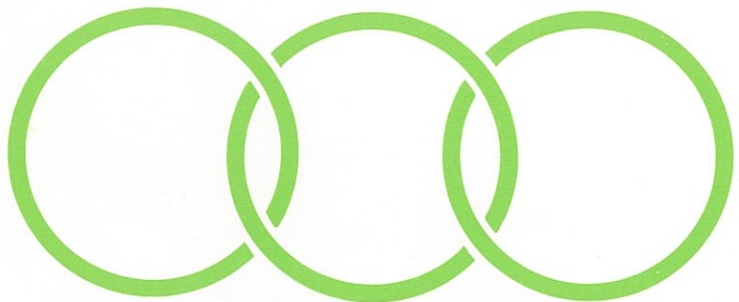
だが、人工林を早く伐るやり方では、材質改善の加工費負担が大きい。だから、山づくりは大径材生産に切替え、そのまま使える部分を増やすのがよからう。それは小径材の生産調整にもなる。そして加工は増大する間伐材に向い、新利用分野を拡げる。こうしてカラマツ林業は大径材生産を軸にすべきであろう。

### エピソード

信州は日本のカラマツの故郷。カラマツを育て、暮らしに役立てる伝統が生きている。カラマツ特別母樹林が宝として守られ、苗木の輸出も始まった。加工技術の開発によって総人工林カラマツの住宅も現れた。一斉間伐を目の前に、山づくりと原木流通と加工とが手を結ぶべき朝である。

(Q)

完成 昭和五二年八月



一六ミリ・イーストマンカラー

全三巻 三〇分

## スタッフ

監修・脚本……………小林 正  
 演出・撮影……………福島 道夫  
 撮影助手・現地録音……………宮 毛 貞 市  
 同……………高山 正 夫  
 編 集……………藤 成 要 一  
 選 曲……………深 沢 康 雄  
 録 音……………福島音響効果  
 タイトルの線動画……………たくみ映画KK  
 制作協力・現像……………SONY/PCL  
 ナレーター……………久 米 明

### 撮影協力

農林省林業試験場 長野県 長野県森林組合  
 連合会 日本浮世絵保存会 追分馬子唄保存  
 会 星野嘉助 由井宗祐